



【松阪地域】 具体的対応方針について

松阪区域の具体的対応方針（令和6(2024)年度） ・ 病床機能の現状

- 各医療機関における具体的対応方針については、国の通知を受けて、あらためて令和5年度末に適宜見直しいただき、各構想区域において取りまとめたところ。
- 令和5年度の病床機能報告や令和6年度のアンケートをもとに、変更した点を中心に、今回あらためて地域の課題もふまえ、具体的対応方針を確認・協議いただく。

医療機関名	2025年に向けた担うべき医療機関としての役割	医療機能ごとの病床数						
		高度 急性期	急性期	地域 急性期	回復期	慢性期	休棟・ 無回答等	計
		上段：令和6(2024)年7月1日時点の病床数【定量的基準適用後】 下段：令和7(2025)年に向けた病床数						
松阪中央総合病院		32	379	19			10	440
		32	379	19			10	440
済生会松阪総合病院	松阪中央総合病院、済生会松阪総合病院及び松阪市民病院は、2025年に向けて3病院の機能分化・連携に関する検討を進め、各病院の役割の明確化に取り組む。	80	326	24				430
				24				430
松阪市民病院		44	175	87		20		326
			175	87				326
済生会明和病院	県南部の回復期リハビリテーションの一拠点として、急性期病院とのさらなる連携強化に取り組むとともに、医療的ケアを必要とする障がい児(者)の支援拠点としての役割を担う。			34	180	4【46】		218
								218
大台厚生病院	紀勢地域の唯一の病院として、地域における急性期医療の確保に貢献するとともに、慢性期機能や在宅復帰支援機能を併せ持つ地域の拠点病院として、地域包括ケアシステムの構築に取り組む。		41	16		53		110
								110
松阪厚生病院	精神科疾患を有した、身体科急性期疾患治療を行える県内唯一の病床としての機能を維持するほか、引き続き慢性期機能を担う。			55		135		190
								190

松阪中央総合病院

高度な医療を提供するために、新棟を建築し対応にあたっている。救命救急センターとして、今後、高度急性期機能の拡張が求められる可能性があり、機能に合わせ10床の活用を検討していく。

松阪区域の具体的対応方針（令和6(2024)年度） ・ 病床機能の現状

医療機関名	2025年に向けた担うべき医療機関としての役割	医療機能ごとの病床数						
		高度急性期	急性期	地域急性期	回復期	慢性期	休棟・無回答等	計
		上段：令和6(2024)年7月1日時点の病床数【定量的基準適用後】 下段：令和7(2025)年に向けた病床数						
三重ハートセンター	循環器疾患に特化した専門病院として、入院を主体とした高度先進医療を提供する。	45						45
								45
花の丘病院	急性期病院の後方支援や、地域の在宅医療の支援を行い、回復期・慢性期機能を担う。				45	51		96
								96
桜木記念病院	地域包括ケア病床の整備に取り組み、慢性期機能とともに地域において不足する回復期機能を担う。			10		60		60
						50		60
南勢病院	地域医療連携の中で、長期にわたり療養が必要な患者を受け入れるとともに、うつ状態や認知症など精神疾患のある身体合併症患者に対して、必要に応じ長期にわたる療養環境を提供する。					51		51
								51

松阪区域の具体的対応方針（令和6(2024)年度） ・ 病床機能の現状

医療機関名	2025年に向けた担うべき医療機関としての役割	医療機能ごとの病床数						
		高度急性期	急性期	地域急性期	回復期	慢性期	休棟・無回答等	計
		上段：令和6(2024)年7月1日時点の病床数【定量的基準適用後】 下段：令和7(2025)年に向けた病床数						
河合産婦人科	専門医療を担って病院の役割を補完する機能						16 16	16 16
南産婦人科	専門医療を担って病院の役割を補完する機能			14				14 14
ナオミレディースクリニック	専門医療を担って病院の役割を補完する機能			10				10 10
北大路眼科	専門医療を担って病院の役割を補完する機能			4				4 4
わきたに眼科	専門医療を担って病院の役割を補完する機能			3				3 3
おかの医院	専門医療を担って病院の役割を補完する機能、緊急時に対応する機能				1 1			1 1
堀江クリニック	終末期医療を担う機能					19 1		19 1
松阪あのおクリニック							19 19	19 19
松本クリニック							9 9	9 9

- 河合産婦人科

分娩取扱い休止のため、休床としている。今後再稼働を検討しているが、数年以内に後継者がいなければ、それ以降に廃止を検討。
- 松阪あのおクリニック

医師・看護師等スタッフ不足により休床としている。再稼働予定（時期未定）。
- 松本クリニック

職員が不足しているため休床としている（再開予定あり）。

松阪区域の具体的対応方針（令和6(2024)年度） ・ 病床機能の現状

松阪地域	医療機能ごとの病床数						
	高度急性期	急性期	地域急性期	回復期	慢性期	休棟・無回答等	計
令和6(2024)年7月1日時点の病床数【定量的基準後】 A	201	921	266	226	393	54	2061
令和7年(2025)年に向けた病床数【定量的基準後】 B	201	921	276	226	365	54	2043
			502				
将来(2030年)の病床数の必要量 C	222	651		606	399		1878
B-C	-21	270	-104		-34		165